

## 気仙沼市水産加工業への支援

2011年夏、三井物産・住友商事の両会長が宮城県知事に対して東日本大震災の復興支援を申し出て、気仙沼市の水産加工業の復興支援に両社(商社連合)が着手しました。

気仙沼市の水産加工業の復興には、補助金申請の要件である組合組成が不可欠であり、また、組合の母体となる水産加工団地の造成・計画立案が発生することより、商社連合から当社に支援要請があり、2011年12月から、技術的支援を開始しました。

2011年12月以降、月に3・4回の頻度で水産加工業者との意見交換・協議を行い、気仙沼市内の鹿折地区で組合を組成し、水産業共同利用施設復旧支援事業(5/6補助金)による仮設共同利用施設を整備していくこととなりました。

その後も、水産加工業者との意見交換・協議を進め、組合設立申請と仮設共同利用施設整備に係る補助金申請を同時並行的に進め、2012年7月に「気仙沼鹿折加工協同組合」の設立が認可され、2012年8月9日に組合設立披露会が挙行されました。

また、2012年9月には仮設共同利用施設も完成し、生業の場を全て失っていた組合員が業務再開にこぎつけました。

2012年10月以降は、鹿折地区の漁港区域の水産基盤整備事業による嵩上げ造成後の本格的な共同利用施設の整備と団地形成を目指して、共同利用施設の基本計画、組合員の土地配置の調整・土地利用計画の立案に努め、2013年秋の着工を目指しております。



組合設立披露会(2012年8月9日、気仙沼ホテル観洋)



仮設共同利用施設

# I. 気仙沼鹿折加工協同組合

—新たな視点で未来にはばたく—

1. 名 称： 気仙沼鹿折加工協同組合
2. 設 立： 平成 24 (2012) 年 7 月 18 日
3. 事務所所在地： 宮城県気仙沼市八日町二丁目 1 番 11 号
4. 組合役員：
  - 理事長： 川村 賢壽 (㈱かわむら 代表取締役)
  - 副理事長： 臼井 弘 (福寿水産㈱ 代表取締役)
  - 同 司 小 山 修 司 (㈱カネシメイチ 代表取締役)
  - 同 司 熊 谷 弘 志 (気仙沼ほてい㈱ 専務取締役)
  - 理 事： 阿 部 道 康 (㈱カネエイ阿部商店 代表取締役)
  - 同 司 島 山 和 穂 (富和水産㈱ 代表取締役)
  - 同 司 村 田 真 (㈱ムラタ 代表取締役)
5. 組合員 (五十音順)：

組合員名	主要事業
㈱あかふさ食品	ほっけほくしみ、ぶりほくしみ製造
㈱一番	とろろ昆布、ふりかけ、海藻加工品製造
㈱カネエイ阿部商店	さんま半味漬、さば朝鮮漬製造
㈱カネシメイチ	刺身用冷凍鰹、ピン長鰹、冷凍冷凍鰹
㈱加和喜フーズ	さんま、鮓、いくら、筋子、フレーク、等加工製造
㈱かわむら	若布、昆布、海藻一般製造
気仙沼ほてい㈱	ふかひれ加工品、レトルト・缶詰、生鮮加工及び製氷
南高長商店	魚類冷凍加工品製造
富和水産㈱	冷凍鰹加工品、マグロタタキ・切り落とし製造
福寿水産㈱	ふかひれ製造
マルチ村上商店	かつお生利節、かつお角煮、まぐろ角煮製造
マルトヨ食品㈱	さんま味凍干、開き干、一夜干、さんまくん柏製造
㈱ミヤカン	まぐろ・かつお缶詰製造
㈱ムラタ	さめすり身、魚類冷凍加工品製造
㈱ヤマゲン	さば朝鮮漬、さんま南蛮漬、しめサンマ製造
ヤヨイ食品㈱気仙沼工場	冷凍食品製造
藤野 誠	水産加工業関連事業

# II. 共同事業の概要

—組合員のコスト圧縮と売上拡大—

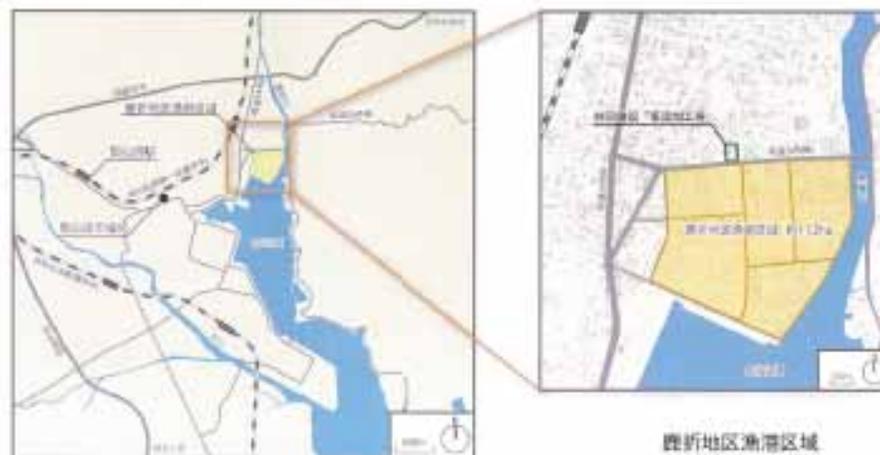
## 1. 初期事業 (2012年夏～)：共同施設「仮設加工場」の提供

提供開始時期： 2012年 8 月下旬 事業費：52 百万円  
設 置 場 所： 気仙沼市錦町 1 丁目 (ファミリーマート跡地)



## 2. 中期事業 (2014年度～)：共同施設「ユーティリティ」の提供 (検討中)

提供開始時期：2013年 9 月の気仙沼市の漁港区域拡大事業による  
土地嵩上造成終了後 事業費：50～80 億円  
共同施設概要：組合ビル (事務所、PR施設、津波避難機能)、地下水  
(淡水・減菌海水) の給水施設、排水処理施設、F級並びに  
超低温冷蔵庫、圧縮空気設備、蒸気ボイラ設備、自家発電  
設備、駐車場、他  
設 置 場 所：気仙沼鹿折地区漁港区域内



鹿折地区漁港区域

### Ⅲ. 組合事業の展望

—世界に展開する水産加工業の追求へ—

販路（国内、海外）の共同開拓、ショールーム、直売所の設置、原料の共同購買、出荷前検査、物流、再生可能エネルギーの利用、化成品製造・販売、製品開発、海外からの研修員受入、など

この他、水産事業と観光等、異分野との新しい融合の視点をもって臨む当組合で共に仲間として歩みませんか！（行政による立地優遇制度あり）



気仙沼鹿折加工協同組合は、東日本大震災の爪痕今なお癒えない気仙沼市鹿折地区で、組合員事業者が今までに培ってきた英知を結集して共同事業にあたり、国、県、市の行政の皆様、金融機関の皆様、学識経験者の皆様、その他、組合を応援して下さいの方のお力とお知恵を拝借しながら、水産加工品製造を継続・拡大しつつ、新たな視点による基軸を築き、気仙沼鹿折ブランドを確立することで、地域経済の活性化に寄与して参ります。今後ともどうぞ宜しくご支援を賜りますようお願い申し上げます。

気仙沼鹿折加工協同組合

気仙沼鹿折加工協同組合 事務局 Tel 022622-4600 Fax 022624-3817  
（気仙沼市工業団地内） Email kccad01@nacc.ne.jp 代表：小澤幸 大副



## 気仙沼鹿折加工協同組合

ししおり

気仙沼「鹿折」発  
目線をひとつに

復興への挑戦

震災後  
2011年3月28日

宮城県・気仙沼港

震災前  
2009年4月

- 組合員 ■(株)あかふさ食品 ■(株)一番 ■(有)カネエイ阿部商店 ■(株)カネシメイチ ■(株)加和喜フーズ  
■(株)かわむら ■気仙沼ほてい(株) ■(有)高長商店 ■品和水産(株) ■福寿水産(株) ■マルチ村上商店  
■マルトヨ食品(株) ■(株)ミヤカン ■(株)ムラタ ■(有)ヤマグン ■ヤヨイ食品(株) ■藤野誠

支援の皆様 ●住友商事(株)・住友商事東北(株)●三井物産(株)●三井共同建設コンサルタント(株)●宮城県 ●気仙沼市  
●気仙沼商工会議所 ●気仙沼漁業協同組合 ●協同組合焼津水産加工センター ●宮城大学 ほか  
\*問合せ先 気仙沼市八日町 2-1-11 気仙沼商工会議所内 Tel.0226-22-4600 fax0226-24-3817 写真提供:社団法人東北建築協会